自己責任論 浸透の中で

子ども輝く学校に
「教育のつどい」分科会から

「発達・学力、教育課程づくり」分科会で熱心に議論する参加者＝8月22日、名古屋市

目の前の子ども一人ひとりを見つめた実践をしたいのに、行政からの圧力や学校にも浸透している自己責任論が壁として立ちはだかる―。「発達・学力、教育課程づくり」分科会では、学校づくりの豊かな実践の報告とともに、現場の教員の苦悩が率直に語られました。（教員は全員仮名）

宮城県の公立高校教員の高橋さん（30代）は、進学校の1年生の学年主任として、生徒の心に寄り添おうとしない学校の雰囲気に煩悶（はんもん）しながら、生徒の学びの保障に奔走した1年間を振り返りました。

しんどさ抱え

「あの子には学ぶ意欲があるのか」。不登校傾向から成績が落ちた生徒のため、各教科の担当教員と指導計画の調整をしていた高橋さんに、ある教員はそう語りました。欠席を繰り返しながらも学校に来るのは学ぶ意欲の表れなのに、なぜその姿を見ないのか。もやもやした気持ちを抱えながら、「2年生になればできることも増えてきて学校に目が向くようになる。いまの不安定な様子だけ見て決めつけないにしよう」と教員たちに語り続けました。

実際、生徒は2年生になると欠席が大幅に減り、1年生では参加できなかった体育大会や文化祭などの学校行事にも参加。卒業後の進路も主体的に考えるように変わりました。

それでも他の教員との子ども観の溝はなかなか埋まらず「しんどい」と吐露した高橋さん。分科会の会場からは、同様のしんどさを感じてきたという共感とともに、「競争教育の勝ち組として自己責任論を内面化している教員は少なくない。そうした教員に『どうしてそう思ったの』と問いかけることが、教員同士の関係構築の一歩になるのでは」との声があがりました。

東海地方の小学校教員の野田さん（40代）は、教育委員会が押しつけてきた「自由進度学習」が、管理教育の強化にすぎないことを報告しました。それぞれの子どもが自分にあった課題を選択し自由に学ぶという触れ込みだったものの、実際は細かな教育内容まで上から枠がはめられていたと指摘。学ぶスピードが異なる子どもたちのために大量のプリントを用意しなければならないなど業務量の増大と、子どもの学力差の広がりや子ども同士で教え合う場面の減少が生じていると語りました。

困難が学びに

九州地方の小学校教員の中村さん（20代）は、クラス内でけんかが起きた際、韓国出身の子どもに「日本人の力を見せてやる」「韓国に負けるな」という声が上がった〝事件〟を報告しました。

児童の保護者も「申し訳ない」「恥ずかしい限り」と動揺するなか、中村さんは、子どもたちと韓国はじめ世界の国の文化や習慣について学ぶ授業を重ねました。子どもたちは日本との違いを学ぶなかで韓国出身の児童の存在を認めるようになり、国際協力に関心を向ける子どもも出てきました。学習発表参観では「使う言葉が違っても、心はつながっている」というメッセージを発表。保護者から「知らない保護者同士でも感動を共有することができた」などの感想が寄せられました。

中村さんは、排外主義の高まりなど社会の動きが子どもたちの言動に影響を与えていると強調。会場からは「多様性によって生じた困難が豊かな学びにつながっている。勇気づけられる実践だ」との声が上がりました。（佐久間亮）

戦争止めるため声上げる

パレスチナ連帯
札幌駅前で集会

北海道パレスチナ医療奉仕団は20日、札幌駅前で「イラン・レバノン・パレスチナ・ガザの命を救え」と訴える集会を繰り広げました。

猫塚義夫団長をはじめとするメンバーは、現在ヨルダン川西岸地区で「第18次パレスチナ医療・子ども支援活動」を行っています。1月にメンバーとなり、今回、支援活動に約2週間参加した歯科医の水野天音氏は、訪れた難民キャンプに約12万人が暮らしており、歯科診療所は3カ所しかなく、「資源もなく教育の機会も奪われ、苦しい生活から抜け出すためのあらゆるアクセスを絶たれた状態だ」と報告。「歯科医として支援できることの少なさに打ちのめされる日もあった」と振り返りつつ「微力であっても無力ではない」と感じた経験を語りました。

友人同士で誘い合い、参加した2人の高校生は「年齢に関係なく小さい子どもまで虐殺されているという話を聞き、胸を痛めている」「少しでも実情を知らせていきたい」と訴えました。

イスラエル出身のピースアクティビスト（平和活動家）というハナン・コーウェン氏が飛び込みでマイクを握り、「われわれは戦争を止めるためにデモをしています。イスラエル人の中にも、パレスチナとの戦争を望まない人も多くいることを知ってほしい」と訴えました。

報告する水野氏＝20日、札幌市

軍事研究動員に警鐘

日本科学者会議 研究集会分科会

開催中の日本科学者会議の第26回総合学術研究集会（9月5～27日）で19日、平和問題のオンライン分科会がありました。「スパイ防止法」と軍事研究の問題点、武器輸出、軍事産業、情報公開判例と安保外交情報、沖縄米軍基地問題など多様なテーマで議論。「戦争する国づくり」へと大きくかじを切りつつある日本での平和構築の課題や科学者の役割について語り合いました。

井原聰・東北大学名誉教授（科学技術史）は、「スパイ防止法」は戦争する国づくりに欠かせない装置だと指摘。自民・維新政権や国民民主、参政、みらいの各党などの推進勢力の狙いと大政翼賛会的な動き、米軍と自衛隊の統合運用や兵器の国際共同開発などの背景について解説しました。

先進国の「スパイ防止」関連制度では、その運用を監査する独立機関が設置されているのと比べ、日本では監査機関の議論が欠落している危険性をあげました。

井原さんは、防衛省による研究制度だけでなく、経済安全保障重要技術育成プログラム（Kプログラム）など〝低い敷居〟で実質的な軍事研究に大学などの研究者が動員されている実態を示して、「巧妙なしくみで網がかけられている」と警鐘を鳴らしました。

山崎文徳・立命館大学教授（技術経営論）は、武器輸出全面解禁のもとで、日本企業が欧米の軍事産業に組み込まれる新たな段階にあると指摘しました。

沖縄米軍基地問題では、新たな県政と国の矛盾や住民自治の重要性を議論。県の非軍事化などの条例の提案や、住民をカネで釣り植民地扱いする政治に対抗し「新しい希望」を示すことが大切だという意見が出されました。

「開かれた政府」に向けて行政情報公開制度を活用して国民による監視をする必要性、核実験場の近くで行われた火山研究の最新の成果が報告されました。

気温全国的に平年より高め

10～12月

気象庁は18日、10～12月の3カ月予報と冬（12月から来年2月）の予報を発表しました。平均気温は12月まで全国的に平年より高く、冬も東・西日本と沖縄・奄美地方で高い。北日本（北海道と東北）は平年並みか高いと予想されます。

一方、12月までの降水量は北・東日本の日本海側と沖縄・奄美がほぼ平年並みで、北・東日本の太平洋側と西日本は平年並みか多い。冬は北日本と東日本の日本海側がほぼ平年並みで、東日本の太平洋側と西日本、沖縄・奄美は多い。日本海側の降雪量は北日本が平年並みか少なく、北陸と近畿、山陰は少ないとみられます。

【10月】北・東日本は天気が数日周期で変わります。西日本と沖縄・奄美は晴れの日が平年より多い。

【11・12月】日本海側は北・東日本で曇りや雨、雪の日が平年同様に多く、西日本で平年より多い。太平洋側は晴れの日が平年より少ない。沖縄・奄美は曇りや雨の日が11月は平年同様に多く、12月は平年より多い。

介護ベッド 事故に注意

NITE 敬老の日控え呼びかけ

高齢者が介護ベッドで首を挟まれたり、電動車いすで転倒したりして重傷を負う事故が後を絶ちません。死亡事故も発生しており、製品評価技術基盤機構（NITE）は、21日の敬老の日を前に、家族や介護従事者らと一緒に使用方法を再確認するよう呼び掛けています。

NITEによると、2016～25年に起きた高齢者の介護ベッドによる事故は43件。手すりなどの隙間に体が挟まる例が23件で最多でした。死亡事故も23件確認されており、22年6月には静岡県の80代女性が首をベッドの手すりとマットレスの間に挟まれ死亡しました。高齢者は力が弱いため隙間から抜け出せず、そのまま首や胸部が圧迫されて窒息死する例が多い。

介護ベッドの事故防止には、製造年の確認が重要といいます。09年に安全性に関する規格が見直され、ベッドと手すりの間隔が狭く頭や首が挟まりにくいよう改良されました。同年以前の製品には注意が必要だといい、NITEは保護カバーなどで隙間を埋めておくなどの対策を提案しています。

同じ10年間で起きた高齢者の電動車いすによる事故は59件で、側溝や川などに転落した例が最多の26件でした。死亡事故は34件で、24年4月には愛媛県の80代男性が水路に転落して亡くなりました。

事故原因の約75%が誤使用や不注意などで、NITEは踏切や側溝といった危険な場所を確認しておくよう呼び掛けます。走行練習を重ね、正しい使い方を身に付けることも重要としています。

高齢者の事故では他にも、認知機能の低下で洗剤を誤飲したり、視力低下に伴い料理中にガスの火を視認できず、やけどを負ったりする例もあります。長年使うつえの劣化にも注意が必要といいます。

NITEの担当者は「高齢者が安心して過ごせるよう、身近な製品の安全対策を確認してほしい」と話しています。

65歳以上、3624万人

総人口の29・6%

総務省は20日、「敬老の日」に合わせ、65歳以上の高齢者の推計人口が15日時点で前年比2万人増の3624万人となったと発表しました。増加は2年ぶり。総人口に占める割合は前年比0・2ポイント増の29・6%で、過去最高を更新しました。

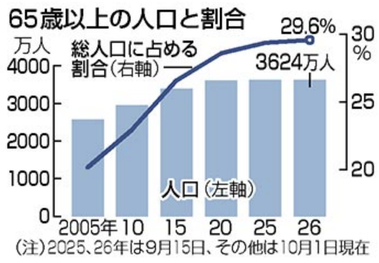
男女別に見ると、男性は1571万人で男性全体の26・3%、女性は2054万人で女性全体の32・6%に上りました。

総人口に占める高齢者の割合は年々増加。国立社会保障・人口問題研究所は、第2次ベビーブーム世代（1971～74年生まれ）が65歳以上になる2040年には、34・8%まで上昇すると推計しています。

人口4000万人以上の39カ国と26年の総人口に占める高齢者の割合を比較したところ、日本がトップでした。2位のイタリアは25・6%、3位のドイツが24・2%。

一方、25年の65歳以上の就業者数は943万人で、22年連続で増加し、比較可能な1968年以降で過去最多でした。65歳以上の人口に占める就業者の割合は26・0%で、高齢者の4人に1人が働いている計算となります。15歳以上の就業者全体に占める割合も13・8%と過去最高でした。

産業別に見ると、卸売業・小売業が131万人と最も多く、医療・福祉122万人、サービス業108万人と続きました。役員を除く就業者586万人のうち、76・1%に当たる446万人が契約社員やパートなどの非正規雇用でした。



犬猫の保護依頼「増えた」が半数

民間団体に調査

犬や猫の保護や譲渡を行う120民間団体のうち約半数が、保護の依頼がこの1年間で増えたと回答したことが分かりました。動物愛護週間（20～26日）に合わせ、ペットケア関連会社「犬猫生活」（東京都新宿区）が調査結果を発表しました。飼い主の高齢化やペットが増え過ぎて飼えなくなる「多頭飼育崩壊」が要因に挙げられました。

環境省によると、都道府県などが2024年度に引き取った犬猫は計3万9409頭。前年度より5009頭余り減りましたが、行政機関が引き取らなかった犬猫を民間団体が引き受けている実態が浮き彫りになりました。

お悔やみ

生路　光子さん（いくじ・みつこ、長野県諏訪・塩尻・木曽地区）19日死去。80歳。通夜は21日午後6時から、葬儀は22日午後1時から、いずれも木曽郡大桑村須原1101の3のセレモニーホール清信殿で。喪主は生路聡さん。65年入党。党支部長。元新日本婦人の会木曽支部長。

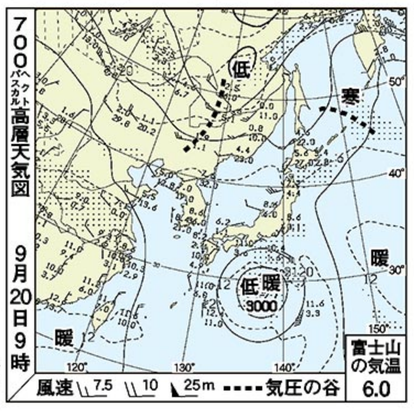
尾関　忠さん（おぜき・ただし、京都府伏見地区）7日死去。77歳。家族葬を行いました。76年入党。元深草の環境を守る会事務局長。

下川　道弘さん（しもかわ・みちひろ、三重県南部地区）18日死去。95歳。家族葬を行いました。喪主は下川慶史さん。63年入党。元赤旗分局長。

中川　信子さん（なかがわ・のぶこ、徳島県阿南地区）19日死去。82歳。通夜は21日午後6時から、那賀郡那賀町横石東浦18の自宅で。葬儀は22日午前9時40分から、同町百合石橋241の1の大三会館で。喪主は中川豊蔵さん。66年入党。元前進座座員。

■20日の気温と天候（15時）

	最高	平年	最低	平年	天気
札幌	23.7	21.9	18.8	13.6	晴
仙台	24.7	24.2	21.1	17.0	曇
新潟	26.7	25.4	21.3	18.1	曇
東京	23.6	26.5	22.0	19.3	曇
名古屋	31.0	28.2	24.2	20.2	曇
金沢	28.5	26.4	22.0	19.0	曇
大阪	30.2	28.7	24.2	21.1	曇
広島	31.3	28.4	24.3	20.2	晴
松江	26.9	26.3	21.9	18.7	曇
松山	30.1	27.9	23.1	20.4	曇
高知	28.9	28.0	24.5	20.9	晴
福岡	34.2	29.7	23.4	22.5	晴
鹿児島	30.8	30.4	26.5	25.5	曇
那覇					



老人週間

天気

きょうは敬老の日です。また「老人週間」の最終日になります。2001年の法改正により、9月15日を「老人の日」とし、そこから1週間を「老人週間」と定められました。その後、2003年から「敬老の日」が9月第3月曜日となりました。感謝を言葉にして伝える1日として、季節の変わり目、祖父母の体調にもさりげなく気を配りたいものです。

テレビ・ラジオ

「無用庵隠居修行10」

BS朝日 22日
里見浩太朗がゲスト

BS朝日で22日（後7・0）、水谷豊主演の時代劇シリーズ「無用庵隠居修行10」が放送されます。

直木賞作家・海老沢泰久原作の短編時代小説をドラマ化。水谷、岸部一徳、檀れいの共演で2017年の放送開始から10年目。今回のゲストは、日本の時代劇を長く支えてきた里見浩太朗です。

里見浩太朗　水谷豊

里見は、主人公・日向半兵衛（水谷）がかつて陽明学を学んだ陽明館の塾頭・伊藤一斎役。半兵衛が、陽明館の元学友で、今は長屋ですさんだ生活を送っている田島安五郎と再会しますが、伊藤はその回想シーンで登場します。今回、半兵衛は、長屋などの土地買い占めを狙う古道具屋の悪事を暴きます。

水谷と里見は意外にも初共演。水谷は、「毎回、松竹撮影所で撮影していると古き良き映画の時代を感じるんです。今回は里見さんがいらっしゃったことで余計にそんな気持ちになりましたね」と感慨深げ。

里見は、「（水谷と）一緒に仕事ができ、役者人生70年になりますが、こんなにうれしい思い出が残った作品はありません」と喜び、時代劇の減少については「寂しいですね」と本音も。「（今年11月で）90歳になるぞって大きな声で言いたくて仕方ないですね。そして時代劇を続けたいですね」と意気盛んでした。

長宗我部兄弟！

NHKテレビ 23日

NHKテレビで23日（前6・10）、大河ドラマ「豊臣兄弟！」の四国攻めの放送を前に、最新研究とドラマで描く「長宗我部兄弟！」を放送します。

主人公は、「弱き者は、強き者に利用されて、いずれ滅びる」という父の言葉を胸に刻んだ長宗我部元親と香宗我部親泰の兄弟。四国統一という夢を掲げますが、織田信長から天下人たちと深く関わり、翻弄（ほんろう）されることに…。

兄弟を演じるのは、卓也（土佐兄弟・兄）と、ゆうき（同・弟）。ナビゲーターは、「豊臣兄弟！」で、元親役を務める磯部寛之。

ラジオ

ラジオ深夜便・にっぽんの歌こころの歌（NHK・AM　深夜3・0台）／**明日へのことば**（深夜4・0台）▽月～弦哲也作品集①／介護の現場を撮り続けて　宮崎信恵（映画監督）▽火～1994年の流行歌／原点は震災〝写らない世界〟を追い続けて　小原一真（フォトジャーナリスト）▽水～宮川哲夫作品集／アートをもっと優しく楽しく！　らちまゆみ（アートテラー・デザイナー）▽木～みんなの子育て☆深夜便　みんなの音楽②　学校・学園ソング　アラカルト／親子の絆を深める〝語りかけ〟こがようこ（絵本作家）▽金～松尾和子作品集／動物の命と向き合い続け　水品繁和（市川市動植物園園長・動植物管理長）▽土～瀬尾一三（編曲・プロデュース）作品集／わが人生、ラジオひとすじ　高嶋秀武（ラジオパーソナリティー）▽日～五木寛之作品集／絶望名言　没後100年フランツ・カフカ　頭木弘樹再

トーク

徹子の部屋（朝日系　後1・0）▽月～新浜レオン▽火～玉川祐子、玉川太福▽水～市川團十郎、市川新之助▽木～鈴鹿央士▽金～新山千春（写真）

土曜スタジオパーク（NHKテレビ　26日後1・50）要潤、尾上右近、佳久創

演芸

浪曲十八番（NHK・FM　22日　前11・0）澤雪絵「一本刀土俵入り」

真打ち競演（NHK・AM　26日　後1・05）二代目古今亭志ん五、篠崎好美

蔵出し名人会（NHK・AM　26日　後7・25）春風亭柳朝「大工調べ」

話芸100選（NHK・AM　26日　深夜1時台）名人芸を味わう　三代目・三遊亭圓歌「中沢家の人々」

日本の話芸（NHKEテレ　27日　後2・0）「らくだ」桂伸治

今週のBS

偉人・敗北からの教訓（26日　BS11　後9・0）佐賀藩の藩祖・鍋島直茂。龍造寺隆信の死後、豊臣秀吉と徳川家康から国政を任され、必死に龍造寺家を支えたが。

ドキュメントJ（27日　BS-TBS　前10・0）中央アジアのウズベキスタン共和国。首都タシケントの「国立アリシエル・ナボイ劇場」で広島の伝統芸能「神楽」が初めて舞った。そこには知られざる奇跡と深い絆の物語があった。

日本遺産物語（27日　BSフジ　後1・0）今年7月、「飛鳥・藤原の宮都」が世界遺産に登録。宮殿・寺院・古墳群を巡りながら〝日本のはじまり〟を読み解く旅へ。